

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2025 年 9 月 5 日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	経営学部
留学(渡航)した時の学年	2 年生
帰国年月日	2025 年 8 月 22 日
明治大学卒業予定年月	2028 年 3 月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ合衆国
留学先大学	カリフォルニア大学バークレー校(日本語名) University of California Berkeley(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語 / 英語
留学期間	2025 年 5 月～2025 年 8 月
留学先大学で在籍した学年	2 年生
留学先の所属学部等	☐ 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: ☒ 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している ☐ その他:
形態	☐ 国立 ☒ 公立 ☐ 私立 ☐ その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 8 月下旬～12 月中旬 2 学期: 1 月下旬～5 月中旬 3 学期: 4 学期:
学生数	約 45000 人
創立年	1868 年

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (USドル) (1 現地通貨 = 150 円)	B 日本円	備考
授業料	7058	円	
宿舍費	6314	円	
食費	400	円	
図書費	0	0 円	
学用品費	20	円	
携帯・インターネット費		8,000 円	
現地交通費	350	円	(☒ 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	0	0 円	
旅費(留学中)		300,000 円	
被服費	300	円	
医療費	0	0 円	
保険費		25,000 円	形態:
渡航旅費		342,990 円	
ビザ申請費		80,000 円	
雑費	600	円	
その他		円	
その他		円	
合計 ※現地通貨 および 円	15042 (=2,256,300 円)	755,990 円	
総計(A+B) ※円		3,012,290 円	

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

渡航関連

渡航経路

往路 出発地：成田 目的地： 経由地：サンフランシスコ

復路 出発地：ロサンゼルス国際 目的地： 経由地：羽田

渡航費用

① 往復チケットを購入した場合

航空会社：ANA

料金：342,990

② 片道ずつチケットを購入した場合

往路 航空会社： 料金：

復路 航空会社： 料金： ∴合計：

航空券購入方法

☐ 旅行代理店(店名：)

☒ インターネット(サイト名：ANA アプリ)

☐ その他()

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例：アパート、大学の宿舎等)

☒ 学生寮(寮の名前：International House) ☐ アパート ☐ ホームステイ

2) 部屋の形態

☐ 個室 ☒ 相部屋(同居人数 1 人)

3) 共有部分

☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☐ 自炊可 ☒ 自炊不可)

4) 住居を探した方法：

留学報告書を読み多くの人がこの寮を選んでいた。

5) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

3 食ビュッフェ形式で食事に困ることはなく、毎日清掃員の方が施設や水回りをきれいにしてくれるため、快適な環境で過ごせました。寮には世界中から学生が集まっており、食堂やメインホールに行けば自然と様々な国の人と交流できます。学生たちは社会的でフレンドリーな人が多く、積極的に話しかけることで多くの友達を作ることができました。こうした環境は日常生活の中で異文化に触れる貴重な機会となり、学業だけでなく人間関係の面でも充実した留学生活を送ることができました。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

☒ なし

☐ あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

☒ なし

☐ あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

現地生に危険な道や地域を聞き、行かないようにした。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で 1 週間に 1 度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮、学内、バスにも Wi-Fi があり快適に過ごせた。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

日本から 500 ドルほど現金を持っていた。クレジットカードも 4 つ持っていた。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

防寒具は買うとかさばるし、高いので持っていたほうが良いと思った。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

親のクレジットカードで支払った。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
3 単位	☐ 単位 ☐ 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
☒ 出発前 ☐ 出発後 ☐ 派遣先大学の事務室 ☒ オンライン ☐ メール ☐ その他() ☐ 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。 記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Marketing	マーケティング
科目設置学部・研究科	Hass School of Business
履修期間	SessionA
単位数	3Unit
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 150 分が 3 回
担当教授	Janet Brady
授業内容	アメリカの企業のマーケティングを解説してくれる。
試験・課題等	課題は主にレポート、また 20 分間のグループプレゼンテーション、最後に選択問題式の最終試験
感想を自由記入	生徒みんな積極的に発言したり、質問をしたりしていてとてもいい刺激になった。教授も素晴らしい方でした。

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Introduction to International Business		国際ビジネスへの入門
科目設置学部・研究科	Hass School of Business	
履修期間	SessionD	
単位数	3Unit	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式 (チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 150 分が 3 回	
担当教授	Dan Himelstein	
授業内容	海外の企業のビジネス形態の解説をしてくれる。	
試験・課題等	主にレポートのみ。最終試験もレポートだった。計 2 回短いプレゼンのようなものがあった。	
感想を自由記入	この授業が一番日本の授業と変わらないと思った。教授はよく日本の事例を紹介してくれた。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Stress and Coping		心理学
科目設置学部・研究科	Psychology	
履修期間	SessionD	
単位数	2Unit	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 150 分が 2 回	
担当教授	Andres Martinez	
授業内容	教授がどのようにして自分の心をマネジメントするのかについて語ってくれた。	
試験・課題等	レポートが計二回、選択問題式の間試験と最終試験があった。	
感想を自由記入	教授の心理学への愛がとても伝わってきた。中間試験と最終試験の前にそれぞれの試験範囲を復習する授業がありとても助かった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Successful Job Search and Interview Skills	成功的な職探しと面接スキル
科目設置学部・研究科	
履修期間	SessionD
単位数	2Unit
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	チュートリアル(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 分が 回
担当教授	Andrea Lypka
授業内容	アメリカでの就職活動に必要な情報を教えてくれる。対面ではないが、毎週のフィードバックを通じてコミュニケーションをとる。
試験・課題等	毎週フィードバックや、自己紹介動画、エレベーターピッチ、カバーレターや就職活動サイトのアカウント作成など。
感想を自由記入	この授業を通じてアメリカでの就職活動をどう進めていくかについて知ることができた。毎回の課題に詳しくフィードバックや改善方法を教えてくれるので履修してよかったと思った。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

☐就職 ☐進学 ☒未定 ☐その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。
内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。
就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1 月 ～ 3 月	
	4 月 ～ 7 月	
	8 月 ～ 9 月	
	10 月 ～ 12 月	留学申込
留学開始年	1 月 ～ 3 月	授業や寮の申請
	4 月 ～ 7 月	VISA 申請
	8 月 ～ 9 月	留学
	10 月 ～ 12 月	
留学/帰国年	1 月 ～ 3 月	
	4 月 ～ 7 月	
	8 月 ～ 9 月	
	10 月 ～ 12 月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生活全般等について、アドバイスを記入してください。

これから留学を志す学生に伝えたいことは、留学は単なる学業の延長ではなく、自分自身を大きく成長させる機会であるということです。私がカリフォルニア大学バークレー校を選んだ理由は、世界トップクラスの大学で学びたいという思いがあったからです。バークレーは経営学や経済学、ビジネス分野で特に高い評価を得ており、学問的な刺激を強く受けられる環境が整っています。また、学生の多様性も非常に魅力的で、世界中から集まる仲間と交流することで、自分の価値観を広げることができると考えました。

実際の留学生活では、授業はレベルが高く、課題や試験の量も多いため、時間管理や計画性が重要になります。しかし、それを乗り越えることで、知識の習得だけでなく、自分の思考力や実践力も大きく鍛えられます。寮生活では、RA が主催するイベントや食堂での交流を通じて、多くの友人を作ることができ、学外活動に参加せずとも日常生活そのものが学びの場となりました。困難に直面することもありますが、柔軟な姿勢と挑戦心を持つことで、必ず充実した経験に変えられると思います。

これから留学を目指す方には、事前準備をしっかり行うこと、そして現地では積極的に行動し、多様な価値観に触れることを強く勧めます。学生のうちにしかできない挑戦を通じて、学業面でも人間的にも大きく成長できるはずです。